
平成26年度 六甲山における土砂災害対策の概要

ー国土交通省 六甲砂防事務所ー

I. 事業の沿革

昭和13年7月5日、阪神地域を襲った豪雨は、無数の山崩れ・土石流を発生させ、阪神地方に莫大な被害を与えました。この災害を契機として、昭和13年9月に六甲砂防事務所が発足し、昭和14年5月から六甲山地において直轄砂防事業を実施しています。

II. 3つの基本方針

(1) 砂防施設の整備

土砂災害を引き起こす危険性が高い箇所において砂防施設の整備を引き続き実施します。また、老朽化した基幹堰堤の補強・機能向上対策も実施します。

砂防施設の整備や堰堤補強に際しては、流木災害の防止対策を同時に実施します。

(2) 六甲山系グリーンベルト整備の推進

六甲山地へ拡大する市街地を、土砂災害から守るため、六甲山系グリーンベルト整備事業の推進に取り組みます。市街地に面する斜面の公有地化及び用地取得済み箇所の斜面对策・樹林整備等を実施します。

(3) 土砂災害に対する地域防災力向上のための取り組み

土砂災害関連情報の収集・分析・伝達の研究開発及び施設整備を図り、警戒避難体制の強化に努めていきます。同時に、土砂災害防止に向けた各種普及啓発活動を実施します。

III. 事業費の概要

平成26年度 予算額 約33億円

IV. 平成26年度の主な事業内容

(1) 砂防施設の整備

○ 土石流の危険箇所での対策工事の実施

土石流危険渓流の対策として、神戸市須磨区西須磨鉄拐における二の谷東第二堰堤（平成24年度工事着手・平成26年度完成予定）、神戸市須磨区西須磨における堺川堰堤（平成23年度工事着手・平成26年度完成予定）の老朽化堰堤補強等について、引き続き工事を推進します。

砂防堰堤の新設
二の谷東第二堰堤



二の谷東第二堰堤（平成26年4月現在）

老朽化堰堤の補強と機能向上
堺川堰堤



堺川堰堤（昭和17年3月完成）

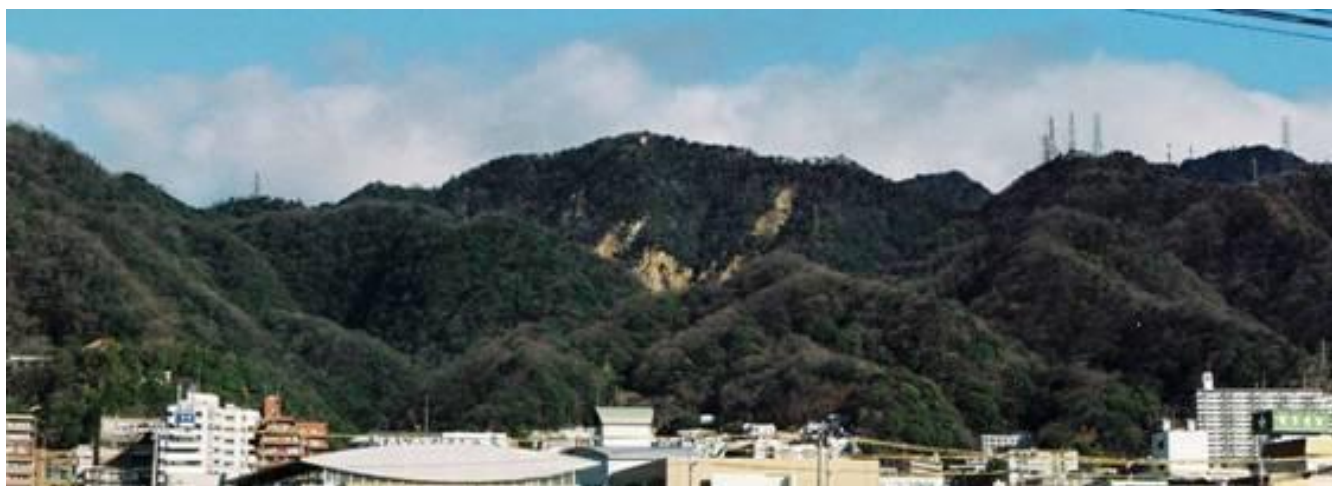


施工中の堺川堰堤（平成26年4月現在）

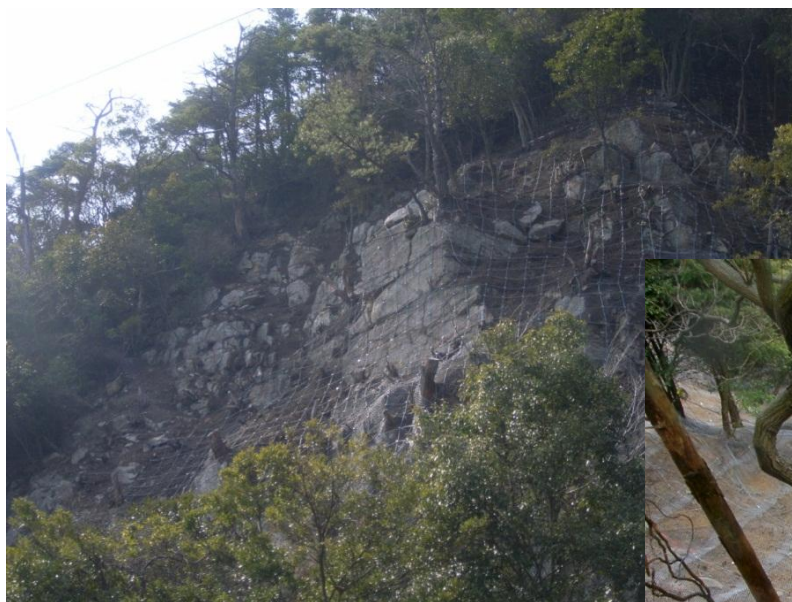
○ 地震により発生した大崩壊地での対策工事の推進

平成 7 年 1 月 1 7 日に発生した兵庫県南部地震により崩落した神戸市中央区苧川谷山腹（平成 16 年度に着手）等の対策工事を着実に進めています。

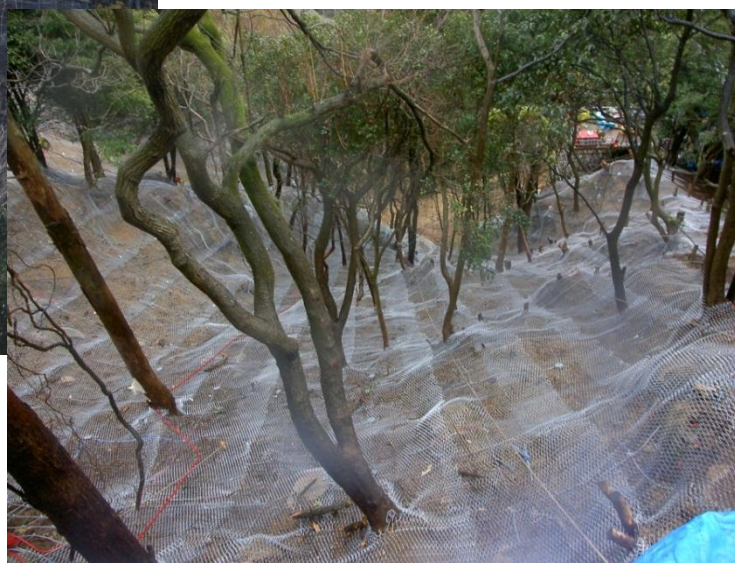
崩壊箇所を鉄筋やネットで抑え斜面の安定を図るとともに、植栽工による緑化を実施していきます。



三宮市街地から見た苧川谷山腹の状況



苧川谷山腹工の施工状況



密着型安定ネット工＋鉄筋挿入工

(2) 六甲山系グリーンベルト整備の推進

○ 危険な斜面の対策工事の実施

神戸市内の山麓部において、斜面崩壊から住宅地等を保全するための斜面对策工事を実施します。

工事はできる限り既存の樹木を残すことが可能な工法を選択し、健全な樹林帯を保全・育成していきます。



樹木を伐採せずに斜面の安定を図る斜面对策工

○ 市民と協働による森づくりの推進

「六甲山系グリーンベルト整備」の一環として、ボランティア・学校・企業等による森づくり活動への支援を実施し、市民と一体となった森づくりを推進します。



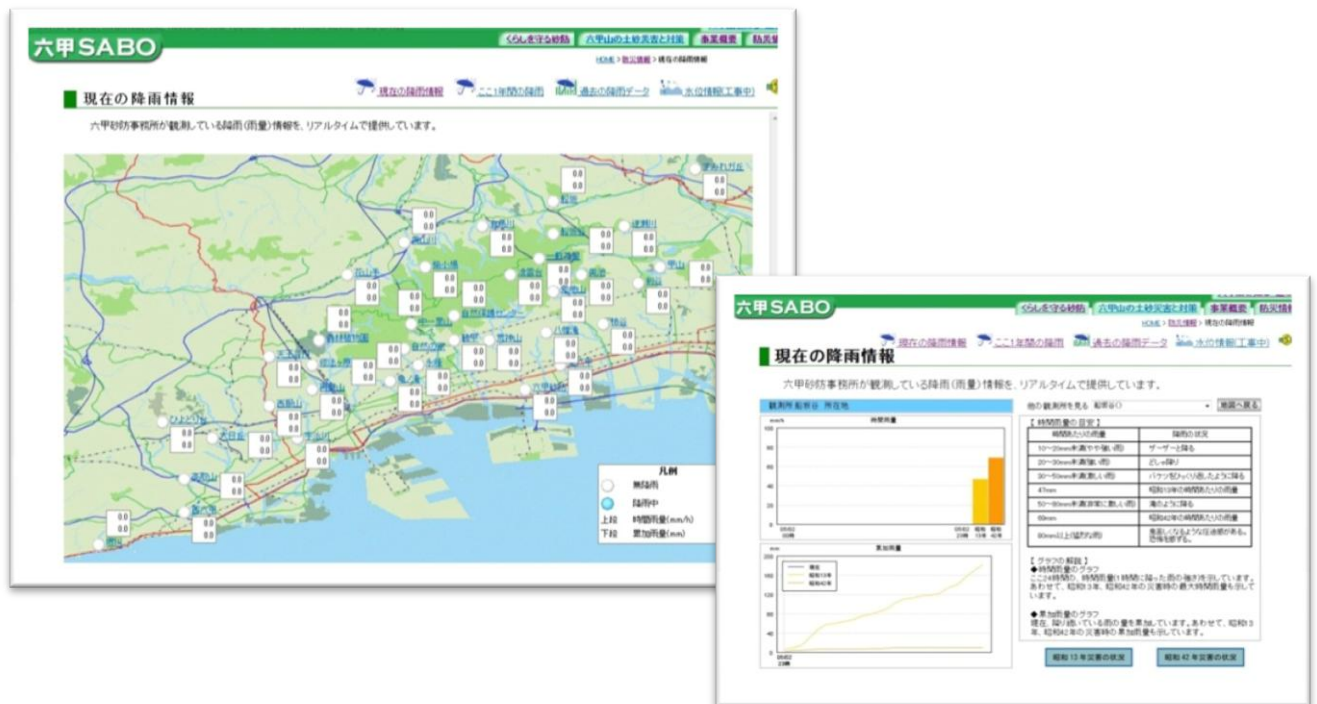
市民団体・企業・学校等による森づくり活動の様子

(3) 土砂災害に対する地域防災力向上のための取組み

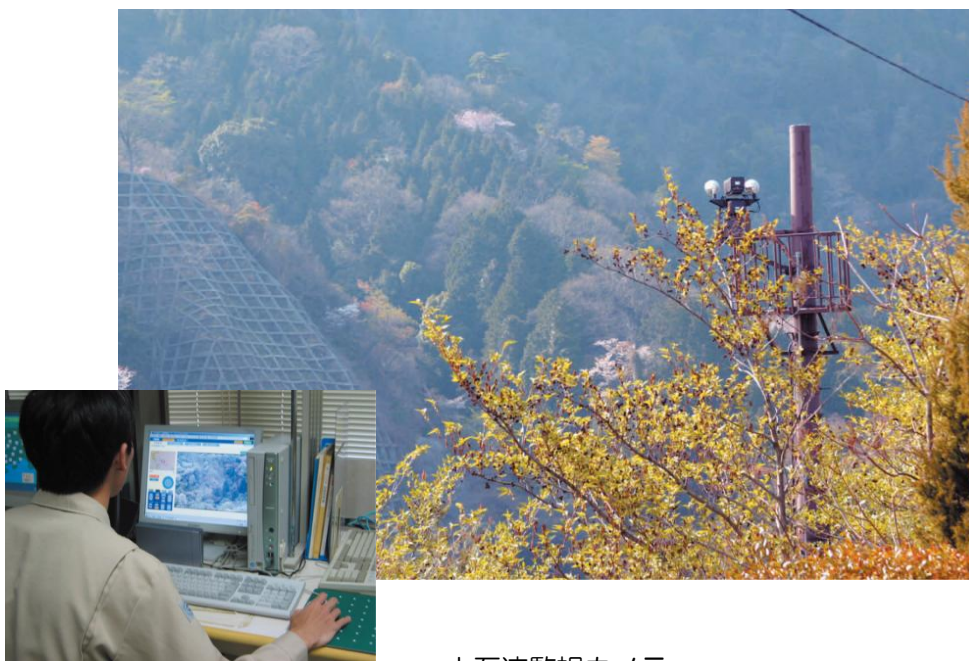
○ 防災情報の共有化の推進

光ファイバーの接続による関係自治体との防災情報の共有化を図ります。

また、神戸市内において土石流監視カメラ等の設置を行い、観測体制を充実します。



土砂災害警戒システム



○ 出前講座等による減災意識の普及啓発

毎年、六甲山を散策しながら、砂防の仕組みや機能を学ぶ「六甲砂防ウォーク」を実施し、減災意識の普及啓発に取り組めます。

また、職員が小学校や地域の防災訓練等で、土砂災害の説明や子供たちの疑問・質問に答える出前講座を行っています。六甲砂防事務所のホームページより出前講座の申し込みを受け付けています。

土砂災害防止月間（6月）には、土砂災害防止啓発チラシの配布や、昭和13年の阪神大水害・平成7年の阪神大震災当時の災害写真などを用いたパネル展を開催しています。



六甲砂防ウォーク



小学校への出前講座



土石流実験模型を用いた啓発活動